

はたらく

～だれもが働きやすい社会を目指して。ソーシャルファームの実践から自立を考える～

＊ソーシャルファームとは…1970年頃イタリアの精神科病院から始まった取り組みで、障がい者や労働市場で不利な立場にある人々のために、仕事を生み出し、企業を起業し、雇用の機会を提供することに焦点をおいた活動。道内では「農・福連携」といった取り組みが注目されている。

日時

2018年2月3日（土）
14時～17時（受付13：30～）

場所

十勝リハビリテーションセンター3階会議室

〒080-0833 帯広市稲田町基線2-1

（第1部）実践報告：（14:05～14:50）

ハローワーク帯広 専門援助部門 統括職業指導官 若山 了氏
おびひろ地域若者サポートステーション 統括コーディネーター 永野 拓己氏

（第2部）特別講演：（15:00～17:00）

NPOコミュニティシンクタンクあうるず 理事
ソーシャルファームジャパン 事務局長 菊池 貞雄氏
農事組合法人共働学舎新得農場 理事 村上 隆司氏

＊当日は、講師の方々を交えて懇親会も予定しております。皆さまのご参加お待ちしております（会費4,000円程度）

お申込み・お問い合わせ先（申し込み締め切り：平成30年1月28日（日））
FAX：0155-67-6332
E-mail：tokachicsw@freeml.com

私たちソーシャルワーカーはクライアントの生活を支えることを使命に日々さまざまな職場で奮闘しています。そして、さまざまな要因で社会的に困難を抱えた人々の生活や自立を考えたときに避けて通れないのが、「はたらく」ということではないでしょうか？働くことで賃金を得られるのはもちろんのこと、自己実現、やりがい、社会参加など働く意味や想いも一人ひとり違うはずです。しかし、現状では障がい、高齢、疾病など社会的に困難を抱える方が自身の希望を持って働くことが必ずしも叶えられるとは限りません。そこで、今年度のPMCラボでは、「はたらく」をテーマにソーシャルファームの実践や社会的にハンデがある方の就労の現状などについて学び、働いて自立することがどのようなことなのかをソーシャルワーカー自身が知る機会になればと考えています。

主催

北海道医療ソーシャルワーカー協会東支部・北海道精神保健福祉士協会道東ブロック・北海道社会福祉士会釧根地区支部・北海道社会福祉士会十勝地区支部

平成29年度道東ソーシャルワーク研究会（PMCラボ）研修会

【参加申込書】

このままFAXにて送信ください。

FAX：0155-67-6332

（みやざわ社会福祉士・行政書士事務所内）

北海道社会福祉士会十勝地区支部

PMCラボ担当 宛

*平成30年1月28日（日）までにお申し込みください。

所属団体名	<input type="checkbox"/> 北海道医療ソーシャルワーカー協会東支部 <input type="checkbox"/> 北海道精神保健福祉士協会東ブロック <input type="checkbox"/> 北海道社会福祉士会釧根地区支部 <input type="checkbox"/> 北海道社会福祉士会十勝地区支部 <input type="checkbox"/> その他
氏名	
事業所名	
連絡先	【電話番号】 【メールアドレス】 @
懇親会	出席 ・ 欠席 (どちらかを○で囲んでください)

メールでお申込みの場合は、上記必要事項を記載して、

tokachicsw@freeml.comまでお願い致します。